

いい商品を安く 敏速な仕事がモットー

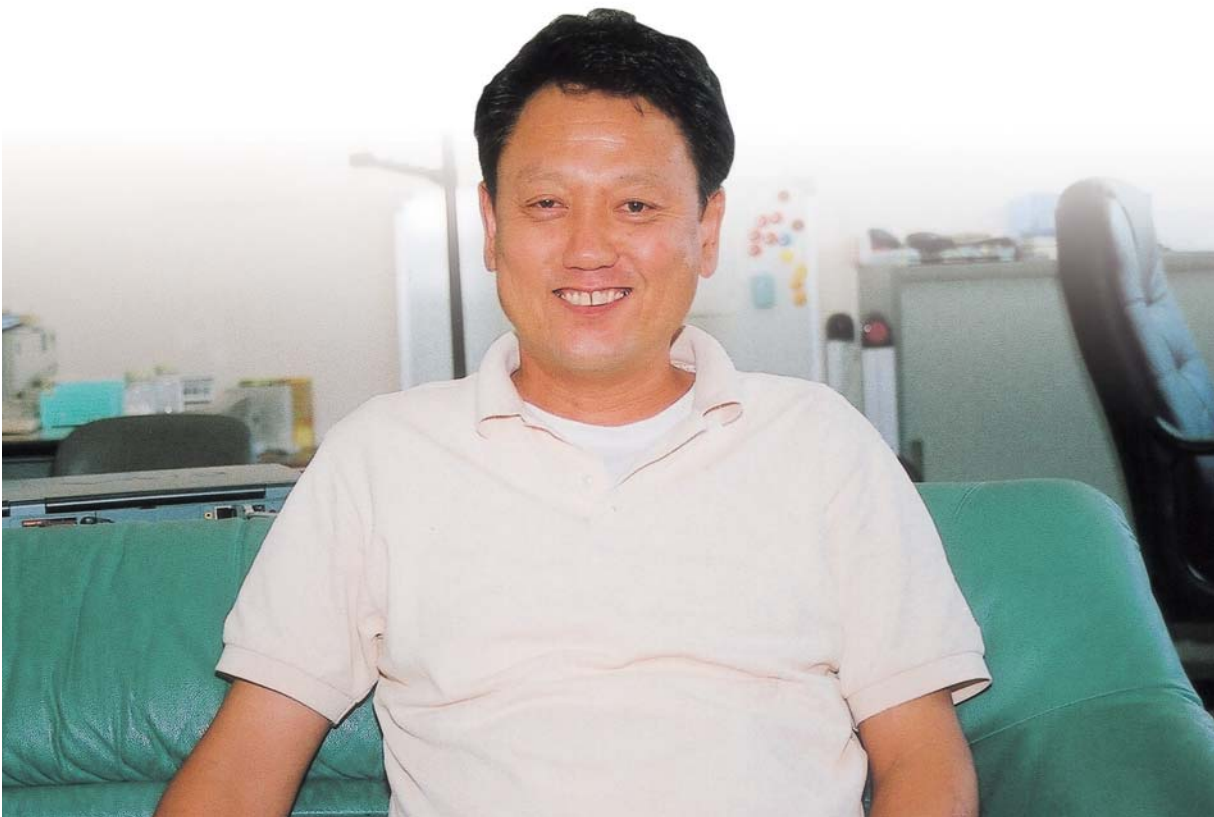
(有)ユーキルーフ

代表取締役社長 宮崎 祐二さん

(有)ユーキルーフの宮崎さんを訪ねた。(有)ユーキルーフは、瓦葺き施工業で、北九州そして大分県、佐賀県と幅広い地域で事業を展開しておられる。会社は大川にあるが、高速の早朝料金とETCをもつて機動力を発揮しながら移動を行う。活気溢れる会社である。いい商品を安くはもちろんであるが、敏速な仕事がモットー。せつかくなので、瓦について少し伺ってみた。瓦にはど

んな種類があるのだろうか。「日本瓦を大きく分けると、三州瓦、淡路瓦、石州瓦に分けられます。愛知県の三州瓦は最も生産量のある瓦です。だいたい二件に一件はこれです。皆さんもよく見かけておられると思います。淡路瓦は瀬戸内海地方で見られるいぶし瓦のことで、高級なものが多いですね。そして島根県の石州瓦は山口、広島でよく見られる赤い色をした瓦のことですね。

寒さに強い特色があります。「ただ最近ではこうした日本瓦は少なくなっていますね。実に九割は洋風瓦になっているんですね。」へえ、意外である。それから、瓦の色は世相や季節の動きに連動して変わっていくそうだ。どういう事だろうか。「不景気の時は黒がなぜか好まれるようです。でも好景気になると、明るい色が主流になっていきます。四季の変化も関係します。つまり



ています。」といわれる。

「今十六人の職人がいますが、二十七、八歳が平均でほとんどが若い人です。その半数は技能検定資格を持っていますし、残りの半数も前向きに資格取得を目指しています。会社としても技能向上を奨励しています。」

前向きな若者たちのモチベーションはどこから来るのだろうか？

「私としては、職人の待遇を良くすることに心がけています。年収を他業種を含めトップ企業に追いつくぐらいのレベルに設定しています。同世代の賃金からすると、おそらく年収で二〇〇万程度は高いのではないのでしょうか。それくらいにしないと、いい人材は集まりませんし、従業員・会社の活力も得られないと思っております。きつい仕事かもしれないが、皆朝早くから意欲的に仕事に励んでくれていますし、技能向上にも意欲的です。」

ミーティングでは、経済動向の話をよくされるようですね。「はいそうですね。いい職人として働くには、手に職を

ではないでしょ

うか。ちなみに(有)ユーキルーフでは、一〇〇%こうした防災瓦を使用しています！」

さて、瓦のことはこれくらいにして、会社の特色に話を移すことにしよう。

「職人を育てていくための環境作りに力を入れ

持つだけでなく、経済的な知識も必要です。例えば最近では原油価格が高騰していますね。あと四ドルほど上がってしまうと、おそらく仕入れ原価が高くなり、売価にも影響を及ぼすこと。為替の仕組みなども加味して話します。そしてそれが従業員の賃金やボーナスに影響が及びかねない事など。こうした経済背景についての知識があると、経費を最小限に抑える努力を従業員自ら進んで行うようです。トラブルを最小限に抑え、無駄な手直しを減らすこと、釘一本でも無駄にしない姿勢が見られます。こうしたことは会社の利益、従業員の年収に跳ね返ってきますし、何よりも職人としての資質向上につながると思っております。」

宮崎さんの話を聞いてみると、職人を大事に育てたいとの姿勢が強く伝わってくる。また厚遇すること若い人たちのモチベーションを高め、引いてはそれが会社の活力につながるのに気づく。今後も健闘してもらいたい。